

～読んでみない？こんな本～

赤ぼうしちゃん グリム民話集より

マーレンカ・ステューピカ 挿絵 山本まつよ 訳 子ども文庫の会



赤ぼうしちゃんはお母さんから、病気のおばあさんのお見舞いに行くよう頼まれます。おばあさんの家は遠く、道の途中で出会ったオオカミにだまされて寄り道をしてしまうのですが、その間にオオカミはおばあさんを食べてしまい、後から来た赤ぼうしちゃんもおばあさんのふりをしたオオカミに食べられてしまいます。そしてお腹に入った二人を狩人が見つけて助け出し、おばあさんはぶどう酒とケーキを食べて元気になり、赤ぼうしちゃんも「寄り道はもうしないわ」と思うのでした。

皆さん知っているグリム民話の「赤ずきん」が、「赤ぼうしちゃん」という題名で出版されました。このお話はいろいろな出版社から出ていますが、この本はかわいらしい、すっきりとした挿絵がお話とぴったりにあって読みやすくなっています。赤ぼうしちゃんの言葉から優しくてハキハキとした明るい女の子なのが伝わってきてテンポ良くお話しが進み、オオカミとのやり取りでは結末が分かっているのにハラハラしてしまうのですが、何度読んでもあきません。自分の子供の時を思い出して、お子さんと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。